

登録番号: No (事務局が記入)

(申請日) 年 月 日

高圧ガス保安管理部会 宛

## 年度 高圧ガス使用申請書

申請者氏名 (使用責任者)	教授・准教授・助教・技術職員 (該当を○で囲む)	主たる使用者 の身分・氏名	身分 ( )	※申請者 (使用責任者) は教授・准教授・助教・ 技術職員に限る。 ※主たる使用者には申請者 (使用責任者) 以外に 学生・院生・研究生・RA・研究員・特任教員・ 客員教員を含む。	
所 属		研究室名		申請者連絡先	内線:
申請区分	新規 ・ 継続		継続の場合は前年度の登録 番号を右に記入して下さい。	No.	
ガス区分	支燃性 ・ 可燃性 ・ 毒性 ・ その他 (該当を○で囲んで下さい)				
使用室番号	号館 号室(内線: ) 10号館は棟名も記入( )				
使用目的					
使用するガスの 種類及び組成					
容器容量	3.4L ・ 10L ・ 47L ・ その他( )			※必要最小容量の容器であること	
充填量	MPa 又は kg		使用圧力	MPa	
使用期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月			※継続の場合は本申請年度の6月からとします	
使用頻度	(回/週)		使用量	(L/回)	

## ＜使用状況＞

同室、同一種類のガスでも、使用方法・形態が異なる場合はそれぞれ提出して下さい。

## ＜使用状況欄への記入内容＞

・すべてのガス区分において、ガス供給・排気系略図(ポンベや実験設備の配置、ドラフト・検知器等の位置)を記入すること。

・毒性ガスの場合においては、上記に加えて、利用時の無害化の方法(必須)を記入すること。

※毒性ガスの排出基準 Cl<sub>2</sub>: 1.0(mg/m<sup>3</sup>)以下, HCl・HBr: 5.0(mg/m<sup>3</sup>)以下, H<sub>2</sub>S: 10.0(mg/m<sup>3</sup>)以下, CO・NH<sub>3</sub>: 50.0(mg/m<sup>3</sup>)以下、ドラフトの排気量: 10-15(m<sup>3</sup>/min)例: Cl<sub>2</sub>の場合には、1分間に10mg以下に排出量を抑えれば基準以下となる